

令和7年度 臨時号①

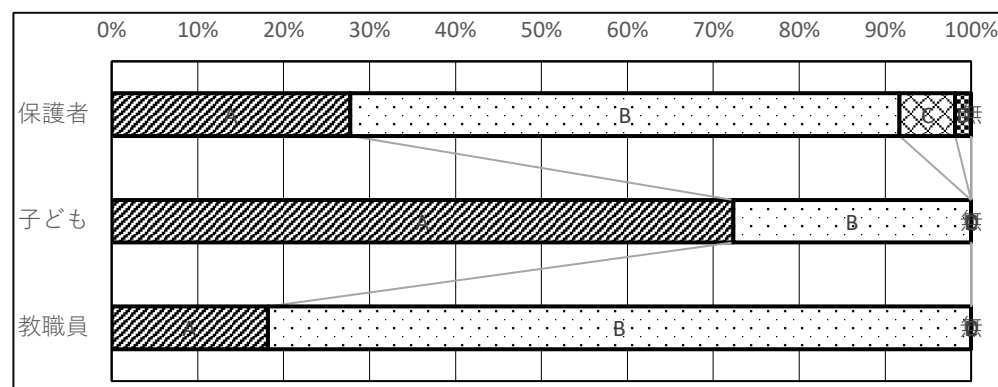
アンケートへのご協力、ありがとうございました

令和7年12月

A=できている
B=どちらかといえばできている
C=どちらかといえばできていない
D=できていない
無=無答

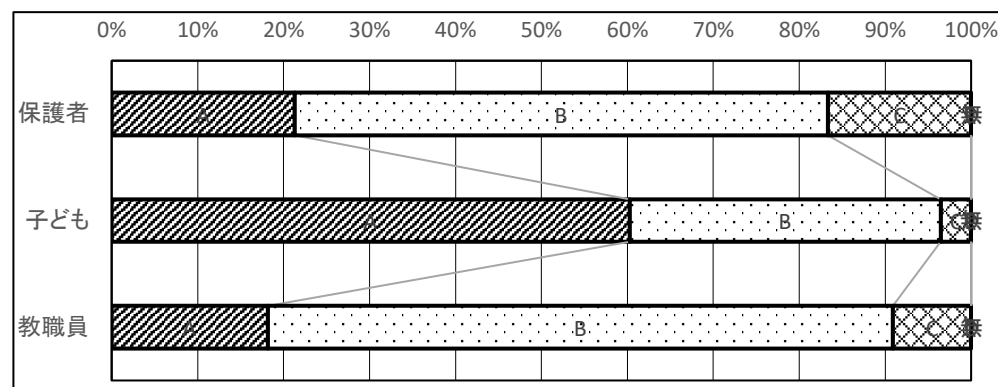
落ち葉が風に舞う季節となりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、10月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。アンケート結果につきまして昨年度と同様に、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似通っているのかを紹介させていただきます。

- ①
子どもは学習内容がわかり力をつけている。
(保護者)
毎日の授業はよく分かる。
(児童)
教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。
(教職員)



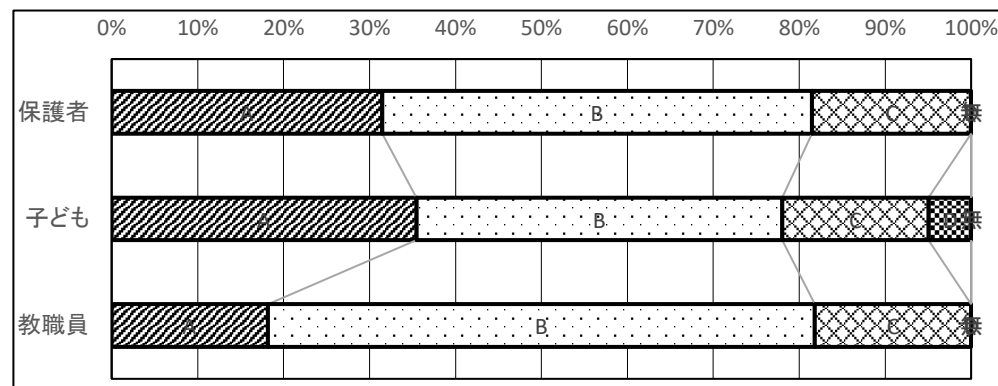
昨年の後期と比べて、保護者・児童・教職員のすべてで評価が上がっており、「Aできている」「Bどちらかといえばできている」の数値は、保護者が91.7%、児童が100%、教職員が100%となっています。特に、児童では、72.3%が「Aできている(授業はよく分かる)」と回答しており、大変うれしく思っています。これは、教職員の「教材研究・教材作成に努め一人一人に分かる授業を工夫している」の肯定的な回答が100%であることから、教職員の授業づくりに対する高い意識がよい影響を与えていると考えられます。5月に実施された全国学力・学習状況調査においても6年生が良好な結果を収めており、今後も児童にとって、楽しく分かりやすい授業づくりに努めてまいりたいと思います。

- ②
子どもは人の話をしっかりと聞いている。
(保護者)
授業中、人の話をしっかりと聞いている。
(児童)
子どもたちはしっかりと話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。
(教職員)



昨年の後期と比べて、教職員では評価に変わりはありませんが、保護者と児童の評価が下がっています。「聞く」ことは、学習だけでなく人とのコミュニケーションにおいて大切な要素です。相手の顔を見て、自分の考えと比べながら最後までしっかり聞くとことは、相手を尊重する人権意識にもつながります。「聞く力」は学習の基礎となる力ですので、後期の学習で引き続きしっかりと身に付けられるようにしたいと思います。

- ③
子どもは思った事や考えた事を発表している。
人に話している。
自分の思った事や考えた事を発表している。
(保護者)
(児童)
子どもたちは相手に伝わるように、自分の考えや思いを発表できている。
(教職員)

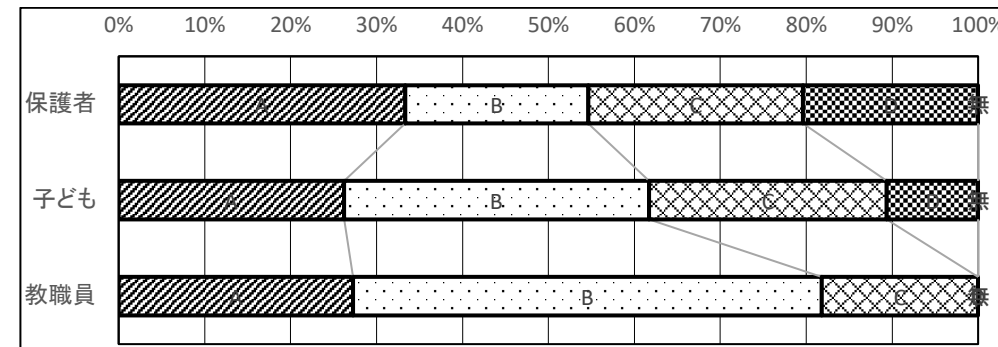


昨年の後期と比べて、児童評価は変わりはありませんが、保護者の評価がわずかに下がっており、教職員評価では上がっています。本校では今年度「対話が生まれる授業づくり」を目指して、授業の中で、子どもたちが自分の考えを互いに交流する場面を意図的に作っています。また、朝の「おはようタイム」や昼の「パワーアップタイム」でも、テーマに沿って自分の思いを話す活動に取り組んでいます。子どもたちが話し合いを行うためには、自分が受け入れられていると感じ、安心して話せる学級の雰囲気大切です。引き続き、子ども自身が自己肯定感を感じることが出来る取組を進めていきます。

④
子どもは家で本を読む習慣がある。 (保護者)

家でも読書している。 (児童)

朝読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取り組みで子どもたちは進んで本を読むようになっている。 (教職員)

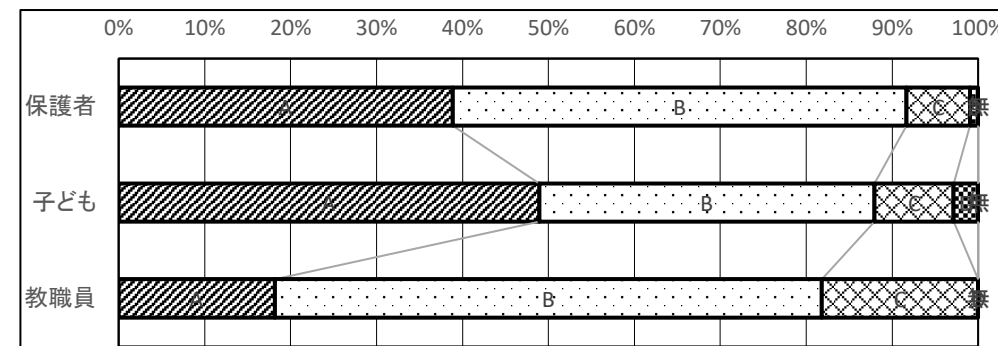


昨年の後期と比べて、保護者では約10%上がりましたが、児童と教職員では下がりました。スマートフォンの普及により、SNSやゲーム・動画や画像を見る時間が増えてきています。子どもは本を読むことで、豊かな言葉を学びます。また、読解力や論理的思考力、想像力、言葉の使い方や語彙力が育ちます。学校でも、図書館利用やお話玉手箱、ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーなど、読書に親しむための取組を進めています。ご家庭でも、子どもたちと一緒に読書の時間を少しでも作っていただけたらと思います。

⑤
子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。 (保護者)

家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとっている。 (児童)

家で宿題や復習などができている。 (教職員)

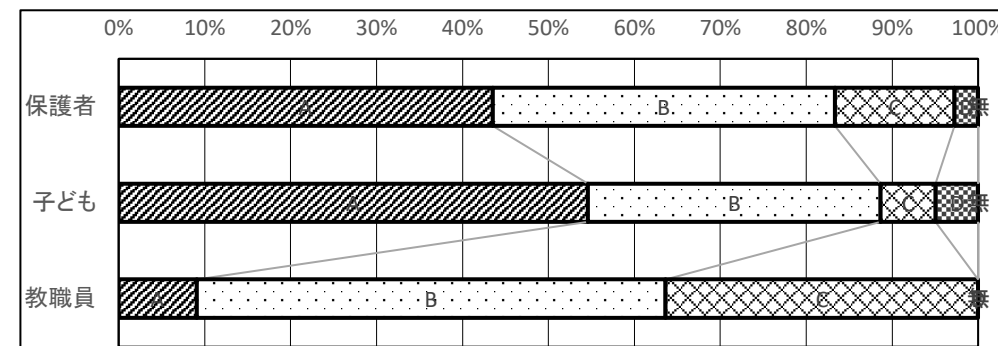


昨年の後期と比べると、児童と教職員の評価が下がっています。特に18%の教職員が、「C どちらかといえばできていない」と回答しており、決められた日に宿題を提出できていない状況があるようです。学校の授業で新しく学んだことを身に付けるためには類似問題をたくさん解くことが必要です。そのため、家庭学習は学力の定着を図る上でとても大きな役割を果たしています。また中学進学に向けて、自分で計画を立てて学習を進める習慣を身に付けることも大切です。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

⑥
子どもは次の日の学習の準備ができている。 (保護者)

次の日の準備をきちんとできている。 (児童)

子どもたちは忘れものをせず、学習の用意ができている。 (教職員)

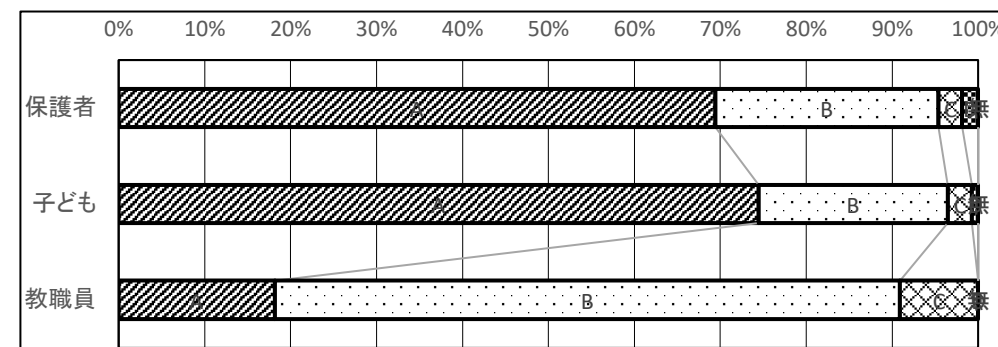


昨年の後期と比べると、児童の評価が下がっています。「Aできている」の回答が前回より15%が減り、CDの否定的な回答が5%増えています。教職員では、36.4%がCと回答しています。下じきや鉛筆、消しゴム、ノートなど、毎時間の学習に必要なものがそろっていない児童もいます。忘れ物があると、学習に支障をきたします。自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。

⑦
子どもは毎日楽しく登校している。 (保護者)

毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。 (教職員)

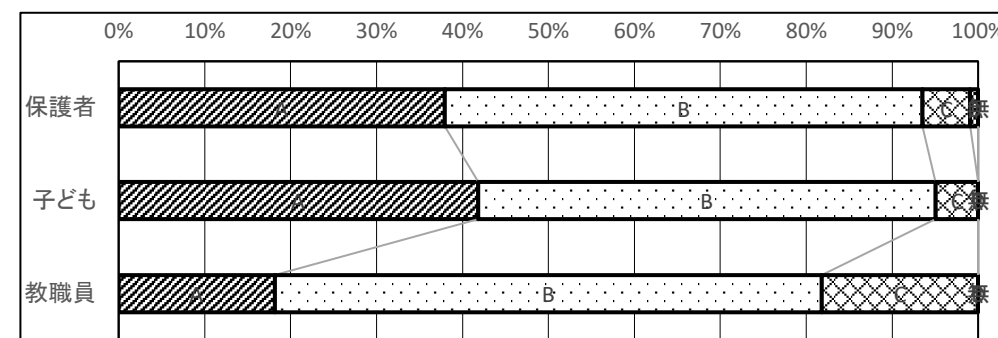


昨年の後期と比べると、保護者と児童では変わりがなく、子どもたちが楽しく学校に通っている様子が分かります。教職員評価ではAの回答が18%増えています。多くの子どもたちが、友達と遊んだり話をしたりできることを理由として挙げています。学校では学校生活に関するアンケートを行ったり、一人一人の児童と担任が面談をする時間を設けています。今後も子どもの気持ちを受け止め、困りを解決していく取組を続けていきます。

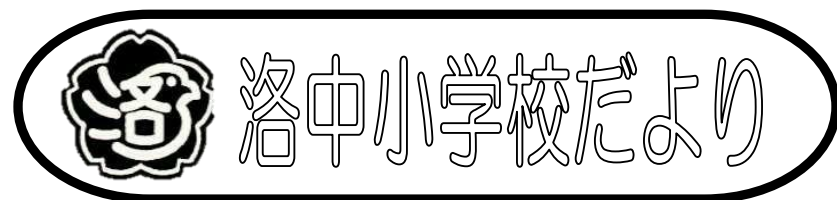
⑧
子どもは約束や決まり事を守っている。 (保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。 (児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。 (教職員)



昨年の後期と比べると、保護者の評価は上がっていますが、児童と教職員の評価が下がっています。廊下を走っていたり、休み時間の後に教室に戻る時間を守れなかったりする子どもを見かけることがあります。改善すべき点については、教職員間で情報共有を行い、統一した指導を行うとともに、全教職員で子どもを見守ることが必要です。約束や決まりを守ることは、将来、社会の規範を遵守する態度につながります。ご家庭でも引き続き、ご指導をよろしくお願いいたします。

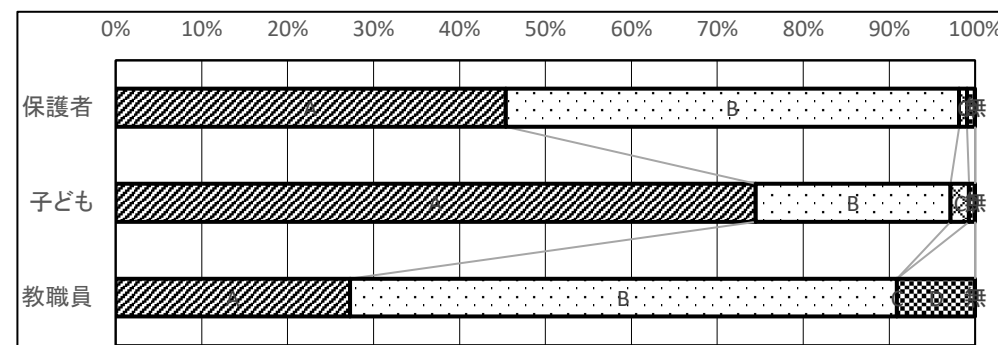


令和7年度 臨時号①

アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけると、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後ともご協力下さい。よろしくお願いいたします。

⑨
子どもは友達に優しくできている。(保護者)

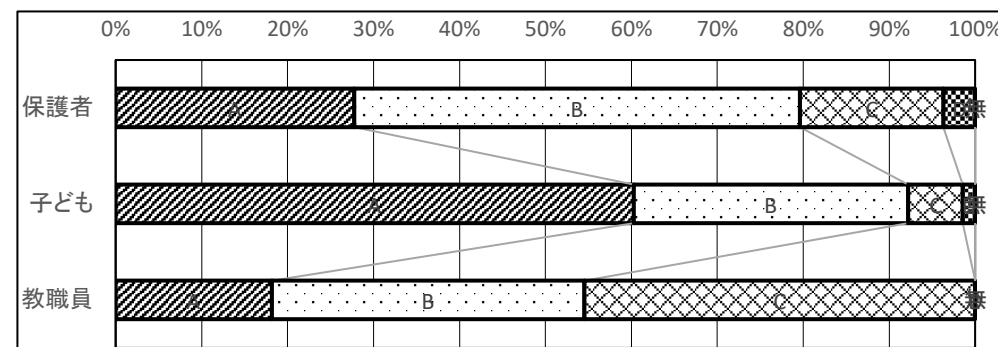
やさしい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)
いじめや仲間はずれのない学級づくりを重点にした取り組みができている。(教職員)



昨年の後期と比べると、保護者の評価が上がっています。教職員では、AとCの両方の評価が増えています。本校の子どもたちは、心の優しい子が多く、思いやりがあります。人に対してへ思いやりを欠いた接し方をした友達に、注意をすることができる判断力ももっています。お互いが嫌な思いをすることなく、気持ちよく学校生活を送ることができるように、人権意識を育てるとともに、いじめや仲間外れのないクラス作りを継続していきます。

⑩
子どもは自分からあいさつができている。(保護者)

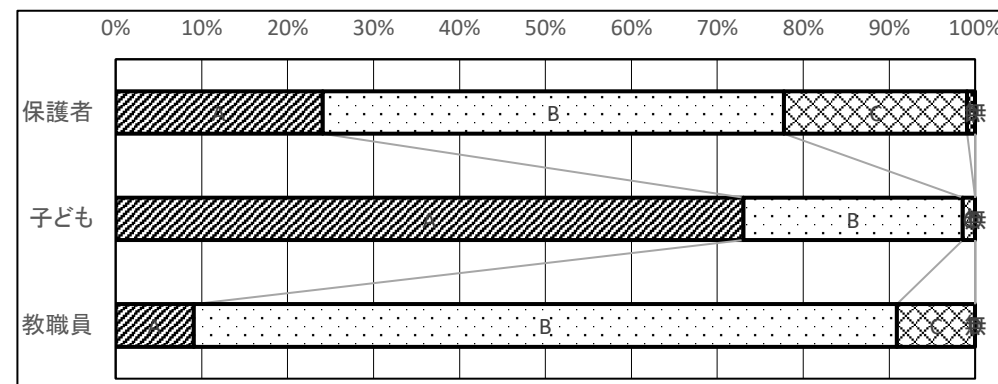
友達、先生、ちいきの方に自分からあいさつできている。(児童)
子どもたちは、元気にあいさつができるようになっている。(教職員)



昨年の後期と比べると、教職員の評価が下がっています。本校には、登下校時だけではなく、廊下や階段で出会った教職員に気持ちのよい挨拶をしてくれる児童もいます。その一方で、自分から進んで挨拶をしている姿は少ないように感じます。まずは、周りの大人から進んで手本を示し、親しみを込めて気持ちのよい挨拶ができる雰囲気を作っていきたいと思います。

⑪
子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)

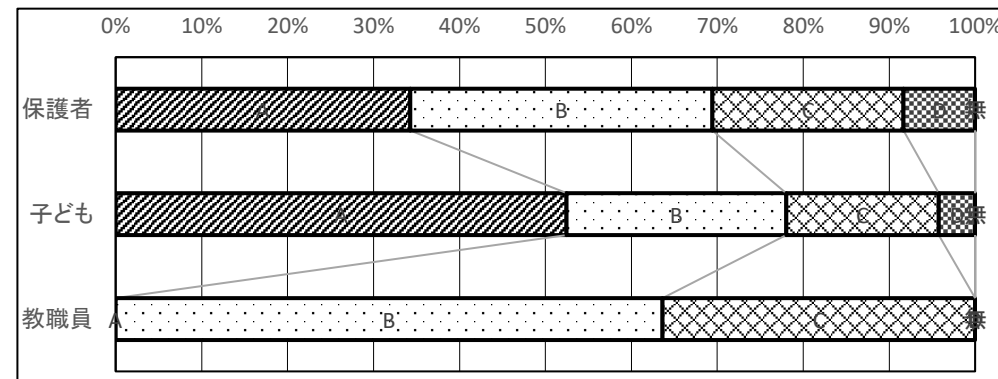
そうじ、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)
子どもたちはそうじや当番活動、係活動をきちんとしている。(特にそうじ)(教職員)



昨年の後期と比べると、保護者の評価が上がり、教職員の評価が下がっています。保護者の評価を見ると、約5分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。家のお手伝いは、家族の一員としての意識を高めるとともに、人のために行動することの心地良さを育てます。タイミングの良い声かけや誉め言葉で、ぜひ子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

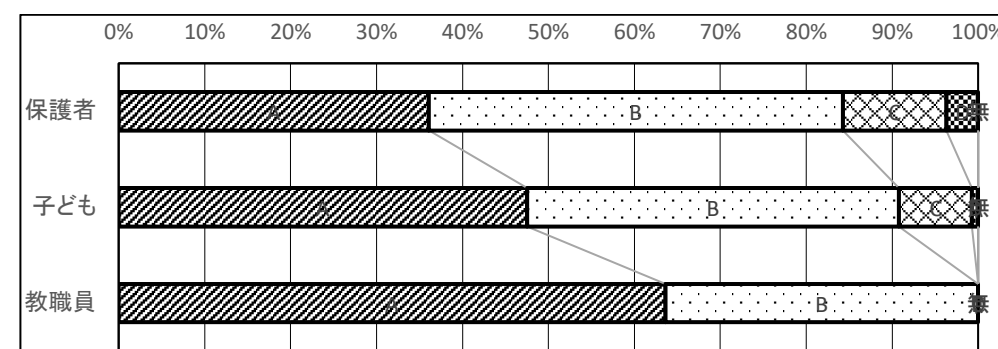
⑫
子どもは放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)

進んで外で体を動かしている。(児童)
体力向上の取り組みを進めている。(教職員)



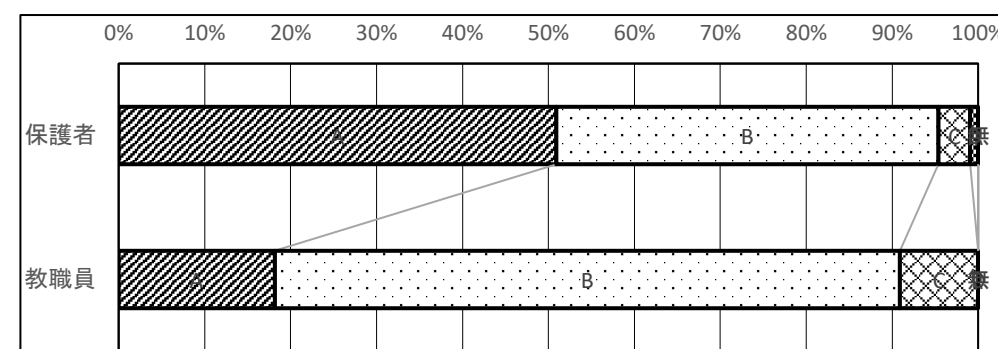
昨年の後期と比べると、保護者の評価が下がり、教職員の評価は上がっています。これは夏の酷暑により外で遊ぶことができなかったことや、スマホやゲームなど、室内で楽しめるアクティビティが増えたことによる影響が考えられます。学校においても、休み時間に外で遊んでいる児童は、固定されており、それが体力テストの結果にも表れています。たてわり遊びやクラス遊び、体育の時間の取組を充実させることで、体力向上につなげていきたいと思っています。

- ⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。
（保護者）
- 好ききらいなく楽しく食事をしている。
（児童）
- 給食についての指導が計画的にされている。
（教職員）



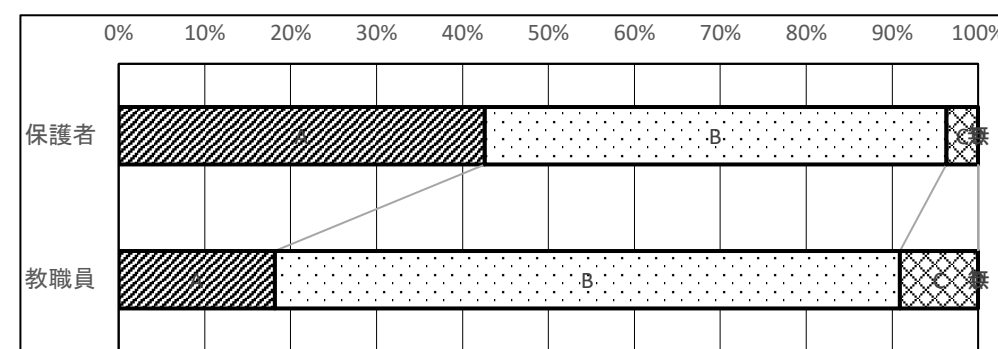
昨年の後期と比べると、保護者と教職員で評価が上がっています。特に教職員の「A」評価が増えています。学校では栄養教諭による「食の指導」、食材の実物の展示や国内外の伝統料理の紹介、ランチルームの活用、お誕生日給食など、給食に関する取組が充実しています。日常的に給食や食について親しむことで、食についての興味・関心をもち、生涯にわたって健やかに過ごすための基礎となる食の大切さへの理解を深められるよう取り組んでいきます。

- ⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。
（保護者）
- 子ども・保護者の思いや願いを受け止め、
気軽に相談ができるようにしている。
（教職員）



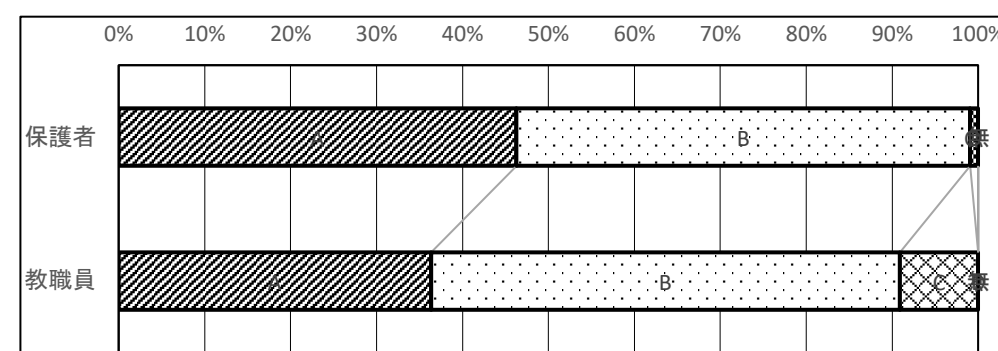
保護者の肯定的な回答は95.3%と高くなっていますが、昨年の後期と比べると、わずかに下がっています。教職員では「Aできている」が増えた一方で、「Cどちらかといえばできていない」も増えています。学校では、保護者の方のお話をじっくりと聞かせていただき、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにするとともに、ひとりひとりの成長を一緒に支えていきたいと考えております。今後も、気にかかることがございましたら、ぜひお気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

- ⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。
（保護者）
- 子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、
実践力が身に付いてきている。
（教職員）



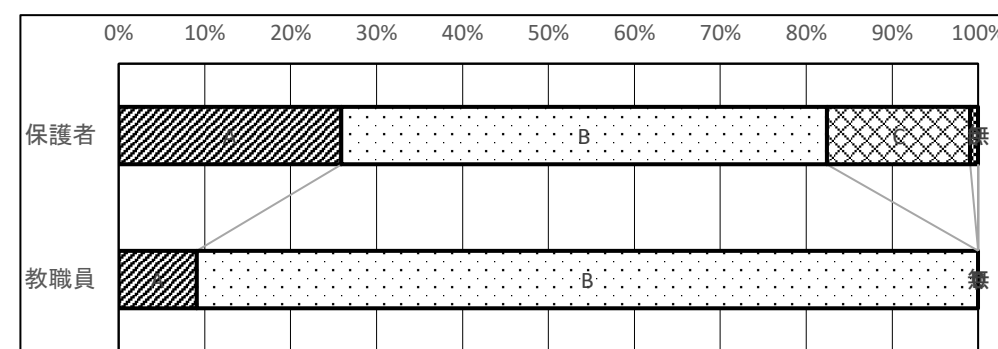
昨年の後期と比べると、教職員の評価に変わりはありません。教職員では「Aできている」が増えた一方で、「Cどちらかといえばできていない」も増えています。思いやりの心は、相手の立場に立って、相手の気持ちを想像することを通して育てることができます。人には様々な感情があり、それは自分と必ずしも同じとは限りません。今後も、子ども一人一人の様子をよく観察し、寄り添いながら、実践力を伴う思いやりのある優しい心を育んでいきます。

- ⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、ホームページなどでよく分かる。
（保護者）
- 学校情報の発信ができている。(学校・学級・保健・
給食だより・ホームページ等)
（教職員）



昨年の後期と比べると、保護者と教職員で評価が上がっています。学校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。ホームページでは、行事や日常の授業の様子などを発信しています。今後も学校の様子を伝えさせていただきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

- ⑰ 学校行事や地域・PTA行事に参加するようにしている。
（保護者）
- 様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が
連携し、子供の教育にあたっている。
（教職員）



昨年の後期と比べると、保護者と教職員で評価が上がっています。本校では、地域の諸団体の方が、子どもたちのためにいろいろな行事を企画してくださっています。また、登下校の見守りや安全教室等のお手伝い、授業におけるゲストティーチャーとしてもご協力いただいています。「地域の子どもは地域で育てる」ということを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。